

# 八峰白神ジオパーク

連載134回

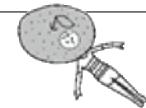
事務局

八峰町産業振興課 ジオパーク推進係  
☎0185(76)4605 FAX 0185(76)2203  
HP <http://geopark.town.happo.lg.jp/>



## 白神の恵みに生きる

地域の人の話を聞いて、  
大地と自然と人のつながりを考えます



### 【樹齢400年のシナノキを語る】



話してくれた人

やなかわ のぶみ だいき  
**柳川 宣史さん 俳号 大亀**

昭和22年3月生まれ。仲峰山長泉寺住職（19代目）およびみのりの吟社代表。昭和60年から長年に亘り峰浜地区の子ども達に俳句を指導し“俳句の先生”として有名。

#### ●長泉寺とシナノキ

長泉寺には樹齢400年とも言われている大きなシナノキがありますが、長泉寺自体が明治26（1893）年12月8日に全焼していて、過去帳等書いた物が全然残ってないんです。初代の住職がハ森の松源院の2代目舜庵宗堯という和尚さんで、その方は三種町下岩川地区の見性寺も開いており、見性寺は天正元（1573）年に建てられたという書物が残っています。だからこの寺も同じ頃に開かれたのでしょう。そして、その方が亡くなったのが慶長16（1611）年7月4日です。それまでの間にシナノキが植えられたのでしょうとい伝えられています。

今の本堂は昭和10年から再建して昭和15年くらいまで完成したことになっています。

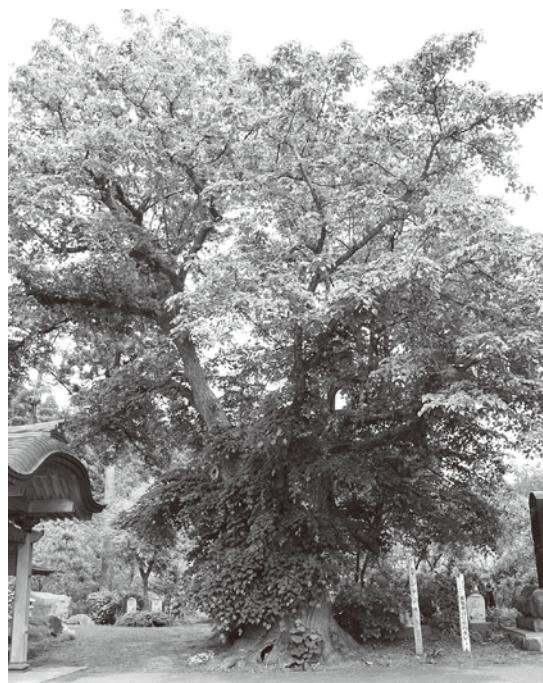
菩提樹という木はお釈迦様がこの大きな木の下で悟りを開いたことからこの名がついています。シナノキと菩提樹は葉や実が似ていて、当時の住職は菩提樹としてシナノキを植えたのでしょう。

#### ●俳句は自分で思ったことを5・7・5に！

俳句は、祖母の影響で始めました。現在は、子どもの俳句指導や仲間達との句会を楽しんでいます。俳句はハードルが高いイメージがあるかもしれません、子ども達には、「は」っと驚いたなあ、「い」いなあ、「い」つもと違うぞ、「く」すぐす笑えるなということを俳句にするように教えています。

子ども達には「俳句手帳」を各自1冊持っていたり、主に夏休みや運動会が終った後、山登り体験などを自由に書いてもらっています。その後、手帳の1句1句に目を通すのですが、いいところに目を付けているな、なるほどと思われます。

昔は俳句を「俳諧」と言ったのです。これは滑稽、面白いという意味です。で、あまり当たり前だと面白くない。それを5・7・5にまとめる。松尾芭蕉の言葉で、「俳諧は三尺の童にさせよ」って言葉があって、三尺って1mくらいです。小さな子どもの考え方や見方でやると俳諧はいいんですよという教えです。自分の思った言葉だからこそ面白いんです。



八峰町の天然記念物にも指定されているシナノキ（夏撮影）